

# 筑紫女学園報 REPORT No.102

2022 FEBRUARY  
令和4(2022)年2月24日

Special Issue

中学校  
高等学校

[近年の教育改革を振り返る]

## 筑紫女学園の伝統と革新

○大学／女性活躍支援センターの取り組み

オンライン海外研修レポート

○幼稚園／公式Instagram

○中期計画「筑女プラン2023」の進捗ご報告

○寄付情報

○卒業生インタビュー

○筑紫女学園のSNS

○法海(こころに響くことば)





# 筑紫女子学園の



## 大きな転換期を迎えたICT導入は生徒の負担軽減にもつながった

**栗山:**100周年を機に校舎が新しくなるなど数多くのターニングポイントを迎えてきた本校ですが、近年の大きな変化は2019年にICTを導入したことですね。生徒一人一人にiPadを1台配付し、ひと昔前では考えられない教育が可能になりました。安部先生が導入をリードしてくださいましたね。

**安部:**ICTの導入は、最先端の教育をする手段としても欠かせなかったのですが、もうひとつは通学時の負担軽減も目的でした。だからこそ、ノートパソコンではなく、軽量なiPadの活用を選びました。実際、これ1台あれば大抵の学習はできると言っても過言ではありません。

**栗山:**最近は小学校も鞄の重さが問題になっているので、その点も非常に大切ですね。

## 革新によるポジティブな変化は生徒だけでなく教職員にも波及

**安部:**私が想定したより早く定着して良かったです。ワープロしか扱ったことがなかった先生も勉強をして見事なまでにiPadを使いこなせるようになりました、教育者側の意識もかなり変わってきていると感じています。電子黒板を導入してからは、板書の量が減って授業のスピードや情報の質も上がったという声も聞こえます。



**栗山:**授業の雰囲気や生徒の様子も変わりましたね。授業中は静かに座り、先生の話を集中して聞くというのが当たり前だった昔からすると、今の状況は考えられません(笑)。どの教室をのぞいても活発で、ひとつの課題に対してみんなで意見を出し合い、互いに高め合っていますね。

**安部:**ICTを導入してから、課題を解決するための方法を自分たちで見つけようとする生徒は確実に増えました。

**栗山:**まさに本学園がキーワードにしている“Teach Less, Learn More.”を体現しているとも言えますね。

**安部:**そうですね。大学受験のための面接練習をしていても、積極的に答えられる生徒が多くなってきたと感じます。おとなしかった生徒が自分の意見を臆せずに発言できるようになった姿を見たときは驚きました。

**栗山:**近年の大学のアドミッション・ポリ

# SPECIAL ISSUE 伝統と革新

110年以上の歴史と伝統を誇る筑紫女学園中学校・高等学校。

近年では話題のICT教育をいち早く導入するなど革新も進んでいます。

長きにわたって学園を見守ってきた宗教科担当を務める栗山宏之教頭と、先端教育担当を務める安部辰彦教諭に、現状とこれからについて語ってもらいました。



シーセーを見ると、積極的で思考力に富んだ人物を欲しがっているところが多い。これからもそうした生徒を育していくことが、本校の進むべき道だと思います。週の授業時間を36時間から33時間に減らし、個々人の学びたいことに時間を割けるような取り組みを始めたのもその一環です。

### 守り抜いてきた伝統があるからこそ新たな取り組みに挑戦できる

**栗山:**教育に関してICTが欠かせないことはこれまでに語ってきたとおりで、これから世

の中がSociety5.0の実現に向かっていく中、AIやICTの活用がますます進んでいきます。一方で、それらを使うのは生身の人間です。情報やツールが便利になればなるほど、正しい判断力や思考力が大切になってくる。その点では、創立当初から本校が大切にしている仏教の教えや建学の精神が生きてくるのではないかでしょうか。

**安部:**ネットを使いたいじめは年々深刻化し、今では社会問題にまでなっています。最新技術は確かに便利ですが、使い方を一步間違えれば凶器にだってなり得る。そんな事態を招かないために心を養うという点においては、人間力が何より大切。本校が伝統として守り抜いてきた精神に私たちも助けられていますね。生徒たちの礎にその教えがあるというのは、非常に意義深いと感じています。

**栗山:**校門での一礼や合掌、法話など、卒業生たちが「懐かしい」と感じる本学園の伝統は今も引き継がれています。こういったもの



は今後も大切に守っていきながら、時代の流れに合った革新を続けていきたいですね。

**安部:**そうですね。ICTの導入は今後どの学校でも進んでいくはずですから、さらに中身が問われるようになると思います。そのためにも、私たちがさらに一歩進んだ魅力的な学びを深めていかなければいけません。授業だけでなく、出欠管理や学校運営全体もより良い方向に進むでしょう。そして、次の節目である120年、200年目の先生や生徒にも本学園の素晴らしい伝統を伝え続けていきたいですね。



## チクジョの今

筑紫女学園中学校・高等学校では、ここ数年、授業でも課外活動でもICTを取り入れるなど、より効率の良い学びが得られるよう取り組んできました。このページでは、具体的な事例を紹介します。

### 伝統

#### 筑女の門をくぐった4世代 み仏の教えを超えて

親子4代にわたって筑女に通っている角野さんご家族。現在、高校に通う優花さんの曾祖母にあたる甲子さんは、バレーボール部で全国優勝を果たし、優勝パレードに参加したことがうれしい思い出だったそうです。祖母・真知子さんは、放送部に所属し、やはり全国大会で優秀な成績を収めました。母・千恵子さんは、高校で茶道部の部長を務め、週に1度の礼拝や感謝日などの行事で聴く法話が楽しみだったと振り返ります。そして、現役生である優花さんも将来の夢に向かって勉強に励む毎日です。千恵子さんは「昔と変わらぬ制服を着た娘を見ると、祖母や母が愛していた筑女に4世代で通えたことを誇らしく思います。仏教教育と校訓『自律・和平・感恩』の教えのおかげで、生かされていることに感謝して、ありのままでいいんだと思えています。祖母や母にも感謝しています」と語ってくれました。



(写真左から)優花さん・千恵子さん

### ① 総合的な探究の時間(高等学校)

「総合的な探究の時間」は、教科横断的な学習と体験を通して、「社会」と「自分」について考える機会となる授業です。本校の総探の柱は、高校3年間で社会的な存在としての自分の生き方を探り、主体性を身に付けることになります。そのために高校1年では視野を社会、世界へと広げさせ、自分がこれから社会や世の中をつくっていく主体であることを意識させます。2年では学外での活動を通して、1年での学びを具体化することを目指とし、1年間を通じて「福岡のこれからを考える」をテーマに活動します。その一例として、修学旅行では、自らの希望に応じて、世界屈指のグローバル都市であるシンガポールまたは日本の中心である東京で企業訪問を実施し、各地で体験したことや学んだことを持ち帰って最終的には福岡のあるべき姿を考えます。海外で働くロールモデルを見て刺激を受けたり、卒業生が働く東京の企業を訪ねて、筑女生であることを誇らしく感じたりする生徒も少なくありません。単なる見学に終わらず、自ら設定したテーマや課題に沿って見聞きし、帰った後に発表をすることで、将来の夢をより具体的に描き、職業観が養える良い機会となっています。



### ② 総合的な学習の時間(中学校)

「総合的な学習の時間」は、変化の大きな時代において探究的な見方や考え方ができるように課題解決を通して、自らのさまざまな資質を磨いていくことを目的としています。例として、中学2年生が海外で働いている日本人とのオンライン・ディスカッションを行いました。事前学習の後、自分たちで司会進行をして、海外で働く日本人に直接話を聞き、質問をしました。家庭や学校以外の社会人と話をする機会が初めての生徒も多く、大変刺激になり、働くということについて具体的に考え始めるきっかけになりました。さらに学んだことをスライドにまとめて学年で共有しました。これまで知らなかった外国の状況や、女性が働く環境について知り、外国及び日本の課題について考えを深める有意義な研修となりました。



### ③ 全員にiPadを配付し、授業内外で活用

中学・高校の全生徒にiPadを配付。教科書のデータを格納し、ノートとしても活用しています。授業支援アプリを導入し、複数の生徒が書き込んでいる内容をリアルタイムに電子黒板に映し出すなど、ICTならではの授業や情報共有が可能になり、板書の時間を取る必要がなく、授業がスピーディーに進みます。また、自宅学習においても学習アプリを使って、復習や事前学習、あるいは反転学習ができるなど、個々人に合わせた学習サポートにも役立ちます。さらには、課題の提出や保護者との連絡などにも活用しています。



### ⑤ オンライン英会話

現在の学校英語教育では「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を身に付けることが求められています。本校では、「聞く」「話す」力を高めるためにオンライン英会話の時間を設け、海外在住の外国人講師と1対1で英語で話します。中学生は、「目的・場面・状況」が設定されたタスクベースのレッスン、高校生は、英語でロジカルに説明するための「型」を定着させるためのレッスンで、スピーキングの力を身に付ける実践的な内容になっています。最初は自分が言いたいことをなかなか英語にできずに悔しい思いをする生徒も多いですが、学習意欲が高まり、受講後の満足度も大変高い結果が出ています。



### ⑥ オンライン紫苑祭

「コロナ禍でも、中学校・高校全学年が一体となって楽しむ機会をなくしたくない」という思いから、紫苑祭実行委員会の生徒が中心となり、オンラインで開催することを決めました。催し事や発表を動画で撮影し、オンラインで配信するだけではなく、Zoomを使ってクラス対抗クイズ大会を行うなど、仲間と共にチーム一丸となって取り組めるプログラムを設けました。これらが実現したのは全員がiPadを持ち、全教室に電子黒板が設置されているICT環境があるからこそだと思います。



### ④ 医進探究発表会

医学の道に進むことを目指す生徒たちのために、2020年春に入学してきた高校1年生を1期生とする「医進コース」を新設しました。このコースでは、医・歯・薬・獣医学部受験に必要な科目修得はもちろん、人間力を養うために、筑女ならではの仏教の教えも大切にしています。加えて、大学の医学部や薬学部等との連携を図り、医療や介護の現場で働く方々の講演を聞いたり、自らが関心を持つ医療テーマを調べ、論文にまとめたりする探究発表の機会を通じ、論理的思考力を高めながら、自分がどんな医療人になりたいのかという意識を育んでいきます。



SPECIAL ISSUE

革新  
筑女の門をくぐった4姉妹  
筑女の目覚ましい進歩を  
4姉妹で実感

4姉妹全員が筑紫女学園中学校・高等学校に通ったという桑原ファミリー。皆さん共通して思う筑女の魅力は、先生方の対応が手厚く、個々人の強みや長所を伸ばそうしてくれる校風で、毎週の礼拝や仏教の授業、花まつりなどの行事も貴重な学びの機会だと感じているそうです。また現役生であるりこさん、わかばさんは「校内に自習スペースが豊富で、自宅学習もiPadなどを通じてフォローしてもらえるので安心です」とICT教育の充実について語ってくれました。4姉妹を見守るお母さまも「近年のICT教育の充実が本当に素晴らしいですね。資格取得支援も充実しているので子どもたちも楽しみながら主体的に学べているようです。学業のみでなく、社会貢献できる自立した女性を育ててくれるのがありがたいですね」とここ最近の筑女の変化に驚いていらっしゃいました。



(写真左から)次女あみさん・三女りこさん・四女わかばさん・長女さくらさん

## 女性活躍支援センターでは 女性のエンパワーメントを推進しています

2018年に発足した女性活躍支援センターでは、社会における女性の活躍を推進するため、以下のような取り組みを実施しています。

### 取り組み

1

### 履修証明プログラムの開設

これからの時代にふさわしい教育機関として、より一層地域社会の期待に応えることのできる魅力ある大学を目指し、就労中または就労を目指している社会人女性を対象にした、リカレント教育\*「女性のためのステップアップ・プログラム～IT・日本語教育・ダイバーシティ～」を2021年度より開設し、社会における女性の活躍を支援しています。

\*リカレント教育：社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくということを生涯続けることができる教育システム。

#### ●3分野のプログラム

- ①ITスキルを高めるプログラム（オンデマンド）
- ②日本語教育の基礎的な知識とスキルを身に付けるプログラム  
【科目等履修コース】【聴講コース】
- ③日本語教員としての知識と能力を身に付けるプログラム
- ④多様性が尊重される社会を作るためのプログラム

＜詳しい情報はこちらをチェック＞

[https://www.chikushi-u.ac.jp/lifelong/recurrent\\_education](https://www.chikushi-u.ac.jp/lifelong/recurrent_education)



受講生の  
声

①ダイバーシティを学ぶ科目が社会人向けにパッケージ化されていて、受講のハードルがぐっと下がりました。オンラインでマイノリティ当事者の方の貴重なお話を視聴できるなど、毎回学びがあります。キャンパスに通学するのも楽しみです。

（大野城市在住）

②現在、横浜の認可保育園で事務職に就いていますが、さらなる技能取得を目指しています。自分の都合に合わせられるオンデマンド授業は学びやすいです。週に一度、期限の設けられた課題提出や授業に、計画的に新鮮な気持ちで臨んでいます。

（横浜市在住）

### 取り組み

2

### 女性活躍支援のための講演会の開催

社会における女性のエンパワーメントを推進し、女性の生涯教育を支援するため、「女性のライフステージ教育プログラム」「男女共同参画社会の推進」「ダイバーシティ教育・研究」に関する講演会を開催しています。

#### ●講演内容

- ・ジェンダー平等を考える講演会（2019年）
- ・セクシュアリティと多様な生き方を考える講演会（2019年）
- ・トランスジェンダーへの差別と《当事者》によるアクティビズム（2021年）



女性活躍支援  
センター長  
現代社会学部  
准教授  
赤枝 香奈子

女性活躍支援センターは、社会における女性のエンパワーメントを推進し、女性の生涯教育を支援するための取り組みを行っています。

「女性」と言っても、非常に多様です。民族や人種、階級やセクシュアリティの違いはもちろんのこと、年齢や経験、住んでいる地域、育った環境、家族や友人関係、得手不得手、健康状態、経済状態、ものの見方や考え方、これからのお仕事など、人によって大きく異なります。社会での活躍とい

う点に限ってみても、学生たちのようにこれから大学や学校を出て働くとしている人たちもいれば、リタイアを間近に控えた方、いたたん仕事を辞め、新たな生き方を模索している方、地域での活動を中心的に担ってきた方など、やはりさまざまです。そのような多様な女性の多様な生き方を尊重し、前に進もうとしている時に背中を押したり、あるいは悩んでいる時に助けとなるような情報を提供できる場に育っていくことができればと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響によって、海外渡航ができない状況が続いている中で、2021年度は日本にいながら外国語学習や異文化交流ができるオンライン海外研修を実施しました。夏期休暇中の研修では37名の学生が参加し、一人一人のレベルに合ったクラスでプログラムを受講することができました。学生たちにとって他大学の学生や世界各国の参加者と一緒に学ぶことは大きな刺激となり、大変充実した時間となりました。



### ●実施プログラムの紹介(2021年夏期)

- ・韓国【仁川大学】3週間プログラム(16名参加)
- ・韓国【徳成女子大学】2週間プログラム(4名参加)
- ・中国【北京語言大学】4週間プログラム(4名参加)
- ・アメリカ【ワーナーパシフィック大学】2週間プログラム(1名参加)
- ・オーストラリア【西シドニー大学】3週間プログラム(4名参加)
- ・フィリピン【現地語学学校】1週間プログラム(8名参加)



自分のレベルに合った  
クラスだから  
安心して授業を受けられて良かった。  
(オーストラリア)

現地大学生と交流をする場が  
設けられており、  
異文化理解の面で学びが多くかった。  
(韓国・徳成女子)

授業後も録画されたその日の授業を見直すことが可能だったため、  
復習する際にはとても便利だと思った。  
(中国)

国際交流センターでは、様々な理由から海外留学が難しい学生のために、質の高いオンライン留学のプログラムを今後も提供していきます。同時に、既存の海外語学研修プログラムに加えて、英語で現地の学生と専門分野を学んだり、様々な国籍の学生と海外でボランティア活動やインターンシップに参

加したりするなど、多くの学生の関心や将来計画につながるよう、多様な海外での学びの機会を提供していく予定です。また、短期留学生や交換留学生の受け入れを促進し、留学せずとも授業内外で異文化に触れ、交流できるようなキャンパスの国際化を推進していきたいと考えています。

筑紫女学園大学 国際交流センター

[https://www.chikushi-u.ac.jp/international/international\\_exchange](https://www.chikushi-u.ac.jp/international/international_exchange)



幼稚園ではInstagramを運用して、イベントやクラスごとの日々の園生活の様子を毎日更新しています。無添加給食のメニューを紹介する「今日の給食」のコーナーなど、園児に関する最新情報をリアルタイムで知ることができます。保護者の方々からは大変好評なコンテンツとなっています。

最近では、さまざまな方に幼稚園の魅力が伝わるようにコンテンツのさらなるパワーアップを図っています。ぜひとも筑紫女学園幼稚園Instagramをご覧ください！

@chikushi0787

<https://www.instagram.com/chikushi0787/>





# 「筑女プラン2023」の進捗ご報告

令和2(2020)年度の単年度目標及び最終年度(令和4(2022)年度)の目標に対する達成状況について

本学園では5カ年の中期計画「筑女プラン2023」を平成30年(2018)6月からスタートし、令和2(2020)年度はその3年目に当たります。

令和2(2020)年度は、新型コロナウイルスの発生・感染拡大を受け、学生・生徒・園児及び教職員の安全の確保を最優先として、様々な感染防止対策やオンライン授業のための機器や通信基盤の整備など、当初計画では予定していない緊急的な対応が多数求められる一方で、延期・中断を余儀なくされる事業も発生することとなりました。

そのような状況下ではありますが、令和2(2020)年度の単年度目標及び最終年度(令和4(2022)年度)の目標に対する達成状況は表のとおりとなります。

	(%)				
	学園全体	大学	中学校・高等学校	附属幼稚園	法人本部事務局
単年度目標に対する達成率	59.2	55.2	50.5	74.1	57.1
最終年度目標に対する達成率	56.6	55.8	50.5	62.8	57.1

## 【大学】●主な取り組み

### ①教育の質保証及び教学マネジメントの確立

現行カリキュラムの運用を全学・学部・授業の3つの側面から検証・改善するための体制を整備し、その下で抽出した各課題に鋭意取り組んでいます。なお、これらの取り組みについては、その検証の機会として、令和3(2021)年度に、明確な評価指標に基づく教学IRと計画・評価・改善を可視化して全学で共有する「基本理念と教育目標発表会」を開催しています。また、教育の質保証を確たるものとする上で必須となる「学習成果の可視化」について、学生の自己評価やアセスメントテスト(\*1)の実施に加え、新しい学務システムの本格稼働と同時に予定している学習ポートフォリオ(\*2)の導入など、成績などと併せて学習成果が可視化できる仕組みを構築しました。

\*1…入学時からの学力の伸びを測定するツール

\*2…学生が授業で作成したレポートや論文、課題達成のために収集した資料や成績表などの学習成果と、学習の過程において学んだ点や気付いた点などを記録していくもの。

### ②海外市場に目を向ける

コロナ禍の影響により国外の移動を伴う国際交流事業をはじめ、学内外での集団活動を伴う地域や産業界との連携事業等に大きな制約が課せられたことから、事業の進捗が大きく低迷した1年となりました。その一方で、オンライン授業やリモートワークの実施が必須となったことを受け、サーバーの増強や学内通信環境の拡充など、予定外の設備投資は伴ったもののICT機器やソフトウェアの積極的活用が必要となったことから、結果として、教職員間におけるこれらスキルの向上につながっています。

## 【中学校・高等学校】●主な取り組み

### ①教育環境のICT化の推進

教育環境のICT化について、コロナ禍による学校休業中のオンラインによる授業、グループ学習、並びにホームルームをはじめ、規律ある生活習慣確立など、多様な支援においてiPadが大いに効果を発揮しました。これらを受

け、導入前の学年の保護者等から早期導入の要望が高まったことから、計画を前倒しし、高校3年生を除いた全生徒にiPadを配付しました。各学年に適した学習アプリの検証・選定を行い、さまざまな授業改善や教材研究について大いに役立つこととなりました。

### ②教科学習の「量」から「質」への転換

ICTの活用によって、対面でやるべき学び、対面の方が適している学びと、自宅学習・個別学習で自分のペースに応じて学習する方が適している学びの住み分けを明確にしました。また、教科学習の「量」から「質」への転換を目的に、2022年度学習指導要領の改訂を見据え、カリキュラムの総授業時間を削減することとしました。

## 【附属幼稚園】●主な取り組み

### ①教育環境のICT化の推進

コロナ禍により、運動会や劇の発表会等について、オンライン配信を行いました。また、保育に関わる内容以外にも、入園説明会やクラス保護者会等でのオンライン配信を行い、ICTの活用が日常化するとともに活用の幅が広がりました。

### ②預かり保育の拡充

預かり保育の希望者が年々増大しており、保護者のニーズに応えるため、通常の預かり保育に加え、長期休業中(春・夏・冬)の預かり保育を実施し、年間延べ2,125名の園児が利用しました。

## 【法人本部事務局】●主な取り組み

### ①寄付協力者の拡大(多様な収入源の確保)

学校法人として、納付金や補助金だけではない多様な収入源確保を図るために、学園HPに寄付募集ページの開設を行った。加えて寄付手続きの簡略化を図ることを目的に、寄付収納システム「F-REGI」を導入しました。

# 寄付に関する報告とお知らせ

日々から、本学園の教育振興のためにご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。

本号では令和3(2021)年1月1日～令和3(2021)年12月31日までに寄付申込みいただいた皆さまのご芳名を掲載させていただきます。

## 寄付(順不同)

以下のとおり、ご寄付・ご寄贈をいただきました。誌上、お礼とご報告をいたします。

### ● 寄付金

萬行寺 様

金額 50,000円

(東日本大震災ボランティア研修に対する支援金として)

株式会社ジック

代表取締役社長・尾崎 靖亮 様

金額 1,000,000円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

筑紫女学園大学 連携推進部

ボランティア活動支援センター

金額 30,049円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

田中 秀吉 様

金額 10,000円

(筑紫女学園大学の修学支援のため)

合同会社 対馬自然写真研究所 様

金額 300,000円

(大学現代社会学部 佐々木 浩教授 哺乳類研究支援金として)

筑紫女学園大学後援会 様

金額 1,000,000円

(大学の教育研究費の補助として)

金額 55,000円

(新入生オリエンテーション補助として)

金額 5,000,000円

(スクールバス運営費補助として)

金額 1,700,000円

(学生用機器備品費補助として)

塚本 桂子 様

金額 100,000円

(筑紫女学園大学のコロナ禍における学生修学支援のため)

中山 信之 様

金額 50,000円

(筑紫女学園大学のコロナ禍における学生修学支援のため)

高原 信一 様

金額 300,000円

(筑紫女学園の育英奨学金として)

高田 智映 様

金額 50,000円

(筑紫女学園の育英奨学金として)

安恒 万記 様

金額 150,000円

(筑紫女学園の育英奨学金として)

筑紫女学園後援会 様

金額 2,000,000円

(図書購入費補助として)

金額 1,949,617円

(クラブ顧問手当、特別コーチ料補助、スクールバス維持管理費用補助として)

筑紫女学園高等学校 筑紫会 様

金額 1,599,520円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

金額 800,000円

(図書購入費補助として)

筑紫女学園中学校 筑紫会 様

金額 934,600円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

金額 200,000円

(図書購入費補助として)

筑紫女学園中学校・高等学校 同窓会 精華会 様

金額 1,272,000円

(クラブ活動資金として)

匿名7名

金額 5,512,000円

### ● 寄贈

■ 高等学校へ

令和元年度高等学校卒業生一同

・プロジェクト一式

鬼丸 碧山 様

・茶碗1点・花入れ1点・色紙3枚

中山 マツ子 様

・琴 三張

匿名1名

・琴 一張

■ 幼稚園へ

令和2年度幼稚園卒園児一同

・屋外用テント 一張

寄付に関するお問い合わせ先

学校法人筑紫女学園 法人本部事務局総務部  
〒818-0192福岡県太宰府市石坂2-12-1

ホームページからもお申込みいただけます。 <https://www.chikushi.ac.jp/donation/>

TEL 092-925-9918 FAX 092-925-8319



未来への道を描いている皆さんの  
背中を押してくれる  
宝物になるような言葉の贈り物です。

[こちらにロングインタビューを掲載しております  
<https://www.chikushi.ac.jp/interview/>



**卒業から時を経て、  
さらに重みを増した  
仏教のみ教え。  
「自分らしさ」は  
筑女が教えてくれた。**

二日市司法書士・行政書士事務所

**植中 美紀 さん**

筑紫女子学園高等学校 1989年卒業



一学生時代の印象的な思い出は？  
筑女の印象は、とにかくみんなよく勉強をしていましたこと。課外授業が7時40分から始まり、日が暮れるまで授業を受け、予習復習を欠かさず、さらに放課後は塾に通う人もいました。それが当たり前の環境だったので、私も自然と勉強する習慣が身に付いたのだと思います。



高校の卒業式の日に、担任の中西先生と記念撮影。  
ここ最近でも110周年記念祝賀会で近況報告をしたそう

一筑女ならではの魅力は？  
高校時代、「女の子らしくしない」という理由で意見や行動を制約されたことが一度もありませんでした。これは、筑女ならではの魅力のひとつだと思います。そして、仲



び伸びと振る舞えた経験は「女性であることを自ら壁や言い訳にしない」という現在の私の生き方の礎になっていると言っても過言ではありません。

一現在のお仕事は？  
「二日市司法書士・行政書士事務所」を開業し、主に相続や遺言に関するご相談や、企業法務を含む法人の登記などを引き受けています。法の知識で人の人生に寄り添うことが司法書士の仕事。その意味では仏教のみ教えである「生老病死」や「愛別離苦」が根底にあると思います。筑女での学びは、年齢を重ねるにつれ重みが増しています。

一筑女へのメッセージを。  
自分の生業や役割を模索することを諦めないでください。もちろん必ずしもそれが仕事である必要はありません。母親として、妻として、人として……など、自分にできることや自分に与えられた役目に向き合うことは自信につながります。ぜひ「自分らしい生き方」を手に入れてください。



©IHF

写真提供:IHF

小柄でも日本代表として戦えるー。  
惜しまず積み重ねてきた努力は、  
大きく実を結ぶと信じて。

イズミメイブルレッズ 所属  
**近藤 万春さん**  
筑紫女学園高等学校 2014年卒業



—ハンドボールはいつから始めましたか。  
中学生からです。小学6年生の頃、幼馴染の  
ハンドボールの試合を観に行ったところ「こ  
んなに面白いスポーツがあったなんて！」と  
感動し、中学では迷うことなくハンドボール  
部を選びました。高校で筑女に進学したの  
は、ハンドボール部顧問の村山先生からの  
お説教がきっかけです。

—近藤さんが思う筑女らしさとは？  
成績優秀な生徒が多く、入学してまず驚いたのは、みんなの勉強方法や取り組む姿勢でした。私もそんな同級生たちを見て「頑張らないと」と刺激を受けたんです。ハードなハンドボール部の練習に3年間耐えられたのもそんな友人たちに囲まれていたから。筑女時代に培った経験は、今の自分の礎になっていると思います。

—2021年には東京オリンピックにも  
出場されました。



写真提供:(株)イズミ

「世界で活躍したい」と思ってはいたものの、年齢的に2024年のパリオリンピックを目指していました。自分が東京で選ばれるなんて予想もしていなかったので、指名されたときは驚きのあまり泣き崩れました。貴重な舞台に立てたことに、心から感謝しています。



高校時代は多くの大会に出場。写真は「高松宮記念杯第63回全日本高等学校ハンドボール選手権大会」出場時

### —筑女へのメッセージを。

私はトレーニングメニューに「腹筋10回」とあったら必ずそれより多くやることを心掛けています。そんな小さな積み重ねがいつか自分の武器になると思うのです。私はハンドボール界では背が低いほうですが、努力し続ければ小さくても世界で戦えるようになるんだということを、これからも体現していきます。皆さんも、どうか自分を信じて努力を惜しまないでください。

大学

PV

This is  
My story.

「一人ひとりのMY STORY」

筑紫女学園大学で過ごす4年間で成長する姿を「わたし、ミラクル。」のタグラインとビジュアルで表現しています。

[https://www.youtube.com/watch?v=waSL4uQ\\_BYk&t=15s](https://www.youtube.com/watch?v=waSL4uQ_BYk&t=15s)



YouTube



「Chikushi Jogakuen University 筑紫女学園大学」

入試制度の説明からイベント情報や先生たちの情熱動画まで、筑紫女学園大学について知りたい情報が詰まったチャンネルになっています。

<https://www.youtube.com/channel/UC7tEuk44m1n23-YDMRjzqw>



Instagram



キャンパスや近隣エリアの魅力、受験生や在学生へのお役立ち情報を発信しています。

<https://www.instagram.com/chikujo1907/>



## 筑紫女学園のSNS

中学校  
高等学校

PV



“Chikuko Eyes”

筑紫女学園中学校・高等学校のキーワードとしている「“Teach Less, Learn More.”」教え込む教育から、自ら学び考える教育へ」を、「見つめる」をテーマにして、Chikushi Jogakuenを3つの“C”で表現しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=Us4EZoZyDA>



YouTube



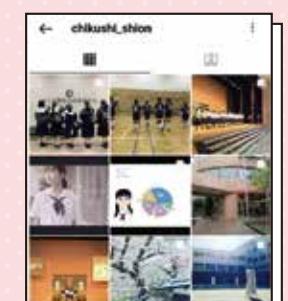
筑紫女学園スマイルCJ

筑紫女学園中学校・高等学校の入試情報や学校生活、部活動を紹介する動画を公開している受験生向けのチャンネルになっています。

<https://www.youtube.com/channel/UCIfZ9ykXnj3WhnNafCPWK9Q>



Instagram



校内イベントや学校生活の様子を生徒目線で発信しています。

[https://www.instagram.com/chikushi\\_shion/](https://www.instagram.com/chikushi_shion/)



法 海 こころに響くことば\_26

比べて喜ぶ人は

比べて泣く人である

私たち人間の「ものさし」は、ものの価値を比較して決めるようにいつの間にかなってしまっています。

比較の「ものさし」は「美味しい・まずい」「長い・短い」「高い・低い」「賢い・賢くない」「上手・下手」「きれい・きたない」「重い・軽い」「金持ち・貧乏」などなど、挙げればキリがありません。

私たちはこの「ものさし」をよくよく点検しているでしょうか。例えば「美味しい・まずい」は人の好みの問題だと思いますが、多数が「美味しい」といえば「美味しい」となったり、値段が高いものが「美味しい」と決めつけたりします。また、テストの成績で考えてみると、同じ点数でも「誰々さんよりよかった」と喜んだかと思えば、「誰々さんには負けた」と悲しくなったりします。このように、比較する対象によって変わる「あやふや」さが比較の「ものさし」にはつきまといます。でもテストで大切な価値は、しっかり努力して、どれくらい学力が身についたのか、間違えたところを次にどう生かすかだろうと思います。

確かに、比較することによって自分の目標にしたり、「頑張る力」にしたりすることは悪いことではありません。「下手」だと思って「上手」になろうとすることは大切です。

しかしながら、なんでも、ものの価値を比較して決めてしまうと「ものそのものの価値」を見失ってしまうことがあります。ですから仏教では比較するのではなく、もののものをあるがままにとらえるという「無分別智(むふんべっち)」を説きます。「分別」とは比較です。「無分別」の智慧を通してものをみてみると、それぞれのもののが「あるがまま」の価値を大切にできるのです。

「日本では おにぎり一つと 粗末にし

インドでは おにぎり一つこそと 手を合わす

どちらが 幸せだろうか」

という詩がありますが、比較して「インドの方が幸せだ」という詩ではありません。日本では、「おにぎり一つ」のそのものの価値を忘れていませんか?という詩です。

比較することばかりの世の中にあって、それぞれの価値を大切にしたいものです。